

災害時におけるラジオ放送の活用について

～ 平素から携帯ラジオを準備し、災害時は正しい情報を入手しましょう ～

平成23年4月27日、秋田県警察本部と秋田市は、この度の震災による長時間にわたる停電の経験から、

A B S秋田放送（周波数：A M 9 3 6）

エフエム秋田（周波数：F M 8 2 . 8）

の2つのラジオ放送機関と「災害時における放送に関する協定書」を締結し、災害情報を早期に、かつ、広く提供・放送することになっています。

災害が発生した場合は、正しい情報を早期に入手することが大切です。

噂やデマに惑わされないようテレビ、ラジオ等の広報に注意しましょう。

東北地方太平洋沖地震とその余震では、長時間にわたる停電を経験しました。

ラジオは、停電時にも住民に情報を届けるメディアとして非常に有効です。

平素から携帯ラジオを準備し、グラッときたら身の安全を守り、ラジオのスイッチを入れましょう。